

議 事 録

| | |
|------------------|--|
| 件 名 | 令和4年度 第1回 瑞浪市介護保険運営協議会 瑞浪市地域密着型サービス運営委員会 瑞浪市地域包括支援センター運営協議会 |
| 場 所 | 瑞浪市保健センター 3階大会議室 |
| 年月日 | 令和4年7月8日(金) 協議時間 13:30～14:53 |
| 出席者 | 委員：別紙名簿のとおり(全員出席) 市：民生部長 正木英二、高齢福祉課長 梅村やよい、高齢福祉課課長補佐 安部智晴、 高齢者政策係長 長谷川幸、高齢者支援係長 加藤承子 瑞浪北部地域包括支援センター 加藤聖二、瑞浪南部地域包括支援センター 安藤弘美 ※地域包括支援センターは、瑞浪市地域包括支援センター運営協議会のみ出席 |
| 会 議 内 容 | <p>進行：高齢福祉課長 梅村 市長あいさつ 自己紹介 別紙名簿の順に各委員自己紹介 会長及び副会長の選出 互選により選出 会長 江口 研氏／副会長 藤本 省三氏 江口会長あいさつ</p> <p>市長もお話されていましたが、2025 問題のみならず、その先を見据えた 2040 問題も同時に検討しなければなりません。喫緊の課題として、介護施設や医療機関等での人材不足が問題となってくることは想像に難くないですが、それについての対策をどうするかが問題となってくると思います。</p> <p>後期高齢者が増加することで、認知症の増加が問題となってきます。欧米では認知症有病率あるいは発生率は減ってきています。この10～30年で10～40%減少しています。疾病管理、栄養管理、運動行動など予防的な介入が進んでいることが、日本より進んでいることが背景にあると思われまます。</p> <p>日本はかなり立ち遅れておりますが、3委員会の掌握する事業の一つである介護予防事業は重大な役目を持っており、今後ますますその事業を推進していくことが必要であると思ひます。</p> <p>また、東濃地方で低い特定健診の受診率を高め、生活習慣病の予防、早期介入を積極的に行うことで、認知症や高齢化に伴う疾病・障害の予防を進めていかないと、今後いろいろな機能が破綻していくことが想像に難くないと思ひます。慎重なご審議をよろしくお願ひいたします。</p> <p style="text-align: center;">議 題</p> <p>地域包括支援センター運営協議会</p> <p>【会長】 議題 1 地域包括支援センターの運営について 各センターの事業報告について、まず瑞浪南部地域包括支援センターより説明をお願いします。</p> <p>【南部包括】 資料1により説明</p> <p>【会長】 ありがとうございます。続きまして、瑞浪北部地域包括支援センターより説明をお願いします。</p> <p>【北部包括】 資料2により説明。</p> <p>【会長】 ただ今の説明について、ご意見やご質問などございませんか。</p> <p>【委員】 活動報告を見ると、虐待に関する相談や困難ケースの数字が多いと感じます。虐待について、どのようなケースで、どのような方から相談があったのでしょうか。また、コロナ禍の中で、会議や介護予防教室がなかなかできなかった状況とこのことですが、令和2年度と比べ令和3年度はしっかり取り組めたか、変化があったかどうか、お伺ひします。</p> <p>【北部包括】 虐待については、近所の方から大声が聞こえる、叩いているところを見たという通報がありました。身体的虐待が多く、金銭的な虐待は1件でした。コロナ禍の活動については、地域の会議や集まりは少しずつ再開されていますが、外部からの参加は遠慮してください、ということもありました。介護予防教室については、教室を実施する会場の規模により定員を制限し、少ない人数で実施し感染予防に努めています。参加者は感染症についてとても気にしている人はいない印象で、トラブルはありませんでした。参加者は増えている実感があります。</p> |

| | |
|------------------|---|
| 会 議 内 容 | <p>【南部包括】補足ですが、会議については、オンラインを活用して実施するなどしており、まん延防止等重点措置中等はそのように対応したこともありましたが、まん延防止等重点措置期間は、介護予防教室は休止しましたが、期間終了後、日程変更して対応し、開催できるよう努力しました。虐待については、近隣から市役所への相談があり対応したもの、民生委員や家族からの通報があり対応したもの等がありました。</p> <p>【委員】委託の前は、直営ですか。いつから委託になったのでしょうか。相談件数は委託前後で増減はありますか。</p> <p>【事務局】委託は令和元年10月からです。相談件数は、カウント方法もあり一概には言えませんが、大きく変わっていないと認識しています。委託としたことで、専門職によるきめ細やかな相談対応ができるようになったと認識しています。</p> <p>【委員】日常生活に関する関係の相談件数が、南部地域包括支援センターと北部地域包括支援センターで大きく異なっていますが、何か原因がありますか。ゴミ出しや食事等、日常生活に関する相談は、北部地域包括支援センターが多く、南部地域包括支援センターが少なくなっています。相談者についても、介護支援専門員の相談数が倍近く異なっています。どのような要因があるのでしょうか。</p> <p>【南部包括】日常生活に関する相談件数については、相談を受ける際、相談者はいくつかの項目について相談されるため、メインの相談についてカウントをしています。それ以外の相談内容については、カウント漏れがあるためと思われます。</p> <p>【委員】南部圏域は、地域包括支援センター以外の他のボランティア等が日常生活に関する相談支援をしているため、相談件数が少ないのではないかと思いました。南部圏域の方が、それらのボランティア等の活動が活発で、北部圏域は、それが不足気味であるのではないかと思いました。そのような見方もあるのではないかと思いますが、そのような原因ではなく、統計の取り方等の問題ということですね。</p> <p>【北部包括】はい。介護支援専門員の相談件数については、ケアマネジャーが訪問の帰りがけ等に地域包括支援センターへ寄って相談することが多いためと思われます。南部地域包括支援センターは、ハートピアにあり立地的に寄り易いですが、北部地域包括支援センターは陶生苑であるため、頻繁に来所できないことがあると思われます。</p> <p>【会長】それでは、議題1 地域包括支援センターの運営について、両地域包括支援センターが適切に運営されていると承認してよろしいでしょうか。賛成の方は挙手をお願いします。</p> <p>－委員全員挙手－</p> <p>【会長】全員賛成により議題1は承認されました。続きまして、議第2 地域包括支援センターの委託先事業所の承認について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>【事務局】資料3により説明</p> <p>【会長】ただ今の説明について、ご意見やご質問などございませんか。</p> <p>－意見なし－</p> <p>【会長】それでは、議第2 地域包括支援センターの委託先事業所について、承認してよろしいでしょうか。賛成の方は挙手をお願いします。</p> <p>－委員全員挙手－</p> <p>【会長】全員賛成により議題2は承認されました。</p> |
| | <p>介護保険運営協議会</p> <p>【会長】次に介護保険運営協議会に移ります。議題1 高齢者福祉計画等の策定に向けたアンケートの調査項目について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>【事務局】資料4により説明</p> <p>【会長】ただ今の説明で何かご意見、ご質問はありますか。</p> <p>【委員】具体的に作成、実施は委託で行うのでしょうか。市が直接行うのでしょうか。</p> <p>【事務局】業者に委託を行います。8月頃契約予定ですが。アンケートについては、2月頃を予定していますが、在宅実態調査については、認定調査時に調査を行うことも考えています。</p> <p>【委員】友人より、介護になる前の状況を把握することを目的として実施している、フレイル予防事業の事例について聞きました。全国で85自治体程しか行っていないようですが、筋力や身体の機能低下の調査を行っているようです。睡眠、食事、運動量を考えていくだけで、フレイル予防となる方が2～3割減ると聞きました。それらをアンケートに入れたり調査を行ったりしてはどうでしょうか。</p> <p>【事務局】一般高齢者向けの調査として、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を行う予定です。どのような介護予防に興味があるか等も含めて調査を行い、今後の介護予防事業の実施に繋げていきたいと思っております。</p> |

| | |
|-------|---|
| 【委員】 | 介護施設をやっている友人が、利用者の方の、歩く速度や疲労の状態、活動量や運動量について、気を付けて見ていると言っていました。体重の増減により、それらが大きく変わるようです。 |
| 【事務局】 | 市及び地域包括支援センターで実施している介護予防教室において、フレイルチェックを行っています。教室のはじめと最後にチェックし、どのように変化したか検証しているところです。今後も継続し、効果的な介護予防事業を行っていきたいと思います。 |
| 【委員】 | 福祉委員の会で、ここ2年、会合が激減しており、各地区のいきいきサロンが行われていないとの話を聞きましたので、そのような状況では、高齢者はコロナ鬱とまではいなくても閉じこもりになり、フレイルとなるとお話させていただきました。地域の民生委員や福祉委員と協力することで、新たな事業を行わなくても、要介護状態になる前のフレイルの段階の人を拾い出していけるのではないかと思います。そのようなアプローチも考えていくべきではないかと思います。 |
| 【会長】 | ありがとうございました。アンケートの調査項目については、この場でのご意見以外の事項については、事務局に一任でよろしいでしょうか。賛成の方は挙手をお願いいたします。 |
| | －委員全員挙手－ |
| 【会長】 | 全員賛成により議題1は承認されました。 それでは、報告事項に移ります。介護保険運営協議会1. 令和3年度介護保険事業の報告について、事務局より報告をお願いします。 |
| 【事務局】 | 資料5-1から4により説明 |
| 【会長】 | ただ今の報告について、ご意見やご質問などございませんか。 |
| | －意見なし－ |
| 【会長】 | ありがとうございました。続きまして、2. 令和3年度地域支援事業状況の報告について、事務局から報告をお願いします。 |
| 【事務局】 | 資料6にて説明 |
| 【会長】 | ただ今の説明について、ご意見やご質問などございませんか。 |
| 【委員】 | 生活支援サービスについて、令和3年度から実施しているとのことですが、陶地区だけで開始されたのでしょうか。 |
| 【事務局】 | 昨年度から実証実験ということで、高齢化率が高く、地域の見守りや助け合いの土壌ができていた陶地区で開始させていただきました。 |
| 【委員】 | 具体的な数値はこれからでしょうか。 |
| 【事務局】 | 25台利用定員を設けていましたが、16台しか利用が無く、検証に足りないため、今年度稲津地区に対象地区を拡大して実証実験を継続しています。今年度秋にアンケート調査を実施し、次年度以降の事業の継続性を検討していくこととしています。 |
| 【委員】 | 日吉地区も、独居高齢者がいらっしゃるため、このような取り組みは家族が安心すると思います。家族が遠方の方も多ようです。ご家族はある程度心配になると施設を考えるようですが、本人は自力でできる間は自宅で生活したいと思われる方もたくさんおられます。このようなものが普及すると思います。また結果を教えてください。 |
| 【委員】 | 緊急通報装置について、近所の方が、知らない間に触ってしまい緊急通報されてしまった事例がありました。私ともう1名の方がその方の見守りをしているのですが、こちらには連絡が入らず、緊急通報装置の設置について知らなかったため、どのような状況かわかりませんでした。こちらに連絡いただければ、慌てずに済んだのではないかと思います。先ほども話がありましたが、支援に携わる者同士の横の連携が大切だと思います。その辺りを考慮していただければと思います。 |
| 【委員】 | 緊急通報装置は固定電話の回線を使用していますが、携帯電話の回線を使用できるようになりませんか。 |
| 【事務局】 | 今のシステム上、固定電話の電話回線がないと設置ができないシステムとなつていまして、携帯電話では設置できません。 |
| 【委員】 | 携帯電話で利用できるよう変更するのは難しいのでしょうか。 |
| 【事務局】 | 機器の更新のタイミングで、可能であれば、検討していかなければならないと考えています。 |
| 【委員】 | 固定電話を使わない、持っていない高齢者も多い状況です。緊急通報装置のために、わざわざ固定電話を入れる人もいらっしゃいます。今は携帯電話が主力ですので、今後、検討していただければと思います。 |
| 【会長】 | ありがとうございました。 |

介護保険地域密着型サービス運営委員会

- 【会長】 続きます、介護保険地域密着型サービス運営委員会 1. 地域密着型サービス等の指定及び実地指導の報告について、事務局より報告をお願いします。
- 【事務局】 資料7-1から3により説明
- 【会長】 ただ今の報告についてご意見やご質問などございませんか。
－意見なし－
- 【会長】 続きます、2. 瑞浪市認知症対応型入居者生活介護入所者需要調査について、事務局から報告をお願いします。
- 【事務局】 資料8により説明
- 【会長】 ただ今の報告について、ご意見やご質問などございませんか。
- 【委員】 空床が8床あるにもかかわらず、早急に入所希望が10名いらっしゃるの、どのような理由でしょうか。人材が不足して入れないのか、その辺りが気になったところです。
- 【事務局】 いくつかのグループホームに入所希望が集中している状況です。6事業所それぞれに調査を行っておりますので、このような結果となりました。
- 【委員】 申込している事業所の入所を待機しているということですね。
- 【事務局】 はい。
- 【会長】 ありがとうございます。続きます、地域包括支援センター運営協議会 地域ケア会議年間計画表について、事務局から報告をお願いします。
- 【事務局】 事務局説明
- 【会長】 ただ今の説明について、ご意見やご質問などございませんか。
－意見なし－
- 【会長】 これをもちまして、本日の議題は全て終了いたしました。ありがとうございました。
民生部長あいさつ